

WEB このページは、ホームページのみに掲載している情報です。

安全で働きやすい職場づくり

○ 心と体の健康づくり施策

76期矢崎グループ 安全衛生活動方針

- 1.法令遵守のもと、職制トップとすべての従業員が一体となった安全衛生活動を推進し、「安全風土」の定着を図る。
- 2.事業場の主体的な安全衛生管理体制の維持強化を図るとともに、継続的な改善を行い、災害ゼロを目指す。
- 3.職場コミュニケーションを更に高めるとともに、新たな施策を織り込んだ従業員の心身の健康保持増進を図る。

矢崎総業株式会社 取締役副社長 酒井 均

矢崎グループでは、上記の安全衛生活動方針のもと、従業員の心と体の健康づくりに取り組んでいます。

①メンタルヘルス

- 2009年からストレスチェックを実施し、ストレスの高い従業員に対し健康相談をするよう看護職が積極的に働きかけています。
- メンタルヘルス不調の未然防止を目的とした教育を実施しています。また、職場復帰者に対して、復職支援手順書に基づき産業医面談や支援会議を実施し再発予防に努めています。

- 有所見率低減を図るため、軽度高血圧症の従業員に対し「生活習慣病改善プログラム」を実施しています。

また、健康障がい防止や職場ストレスの低減に向けて喫煙者率、高ストレス者率の数値目標を掲げ、従業員の健康管理に留意しています。さらに健康保険組合と連携し「スマート・ライフ・プロジェクト」をはじめとするさまざまな施策を講じ、自身の健康を常に意識できる従業員を増やす取り組みを進めています。

②フィジカルヘルス

- 疾病の早期発見・早期治療を目的に、定期健康診断100%受診を推進し、さらに再検査対象者全員に対し受診勧奨を実施しています。
- 禁煙の啓蒙活動をグループ全体で推進しています。また、受動喫煙防止のため、非喫煙者に配慮した喫煙場所を設置しています。
- 健康保険組合が主導して外部医療機関と提携し、特定保健指導の実施率向上を図っています。

2016年度の健康管理に関する状況

各種施策	目標	実績
定期健康診断受診率	100.0%	99.9%
喫煙率	23.2%	29.1%
ストレスチェック受検率	100.0%	96.0%
高ストレス者率	7.7%	17.0%
セルフケア教育受講率	100.0%	84.0%

主な施策

活動項目	実施内容
生活習慣病改善プログラム	軽度高血圧症の従業員から希望者を募り、運動プログラムや食事指導を実施して高血圧症の未然予防に努めています。順次、実施事業所を拡大中です。
すきま時間に歩こうDAY	Y-CITYにおいて、昼休憩を活用したウォーキングイベントを毎月開催し、運動習慣のきっかけづくりを行い、従業員の健康増進をめざしています。
昼食の費用補助	食堂の有無に関わらず昼食の費用を補助し、きちんと食事を摂ることによる身体の健康づくりを推奨しています。
e-learningによるセルフケア教育	オリジナルのセルフケア教材を作成し、全従業員がe-learningで学べる環境を提供しています。